除草剤と低コスト農業

いま，日本農業は重大な時に至っている。

その原因のひとつは，米の自由化に関連している。それは自由化に対応して，米を如何に安くするかが問題とされているからである。その方法として規模の拡大，田畑転換。さらに生産費，特に労働費，機械費，生産資材費等を合理化することによって，コスト低減を図ることが重要なこととされている。

そこで，当協会の植物調節剤（除草剤，生育調節剤）は如何にしたら，その要請に応えられるだろうか。例えばいままで，除草剤を使って雑草防除の合理化を図って来た。すなわち，かつて10a当り除草労力は50.6時間を必要とされてきたが，現在では3.8時間に短縮してきた。しかも除草法も体系除草法から一発処理法に替って来た。このように，雑草防除は著しく低コスト化に貢献している。それをさらに低コスト化を図ることは，かなり困難が伴うと思われるが，しかし，コスト低減を図れるか否かは，今後の日本農業にとって重要なことである。

植物調節剤部門としても検討した結果，新たに10項目の開発方向を定め，その目的を達成することに邁進することにした。その目的とすることは，まず毒性のないもの，特に魚毒性については，A類のものを基準とする。しかも作物に薬害のおそれのないもの，そのうえで，殺草スペクトラムの広いもの，また長期持続性のあるもの，しかも低価格のものの開発をはかろうとしております。大変困難なことであるが，「なせばなる」の精神を以って，一致協力して行きたいと思います。皆様の御協力を乞うしだいです。

〔財団法人　日本植物調整剤研究協会　会長　吉沢長人〕

目　　次
（第22巻　第10号）

巻　頭　言
除草剤と低コスト農業…… 1
＜(財)日本植物調節剤研究協会
会長　吉沢長人＞
研究目標をめぐる諸問題…… 2
＜農林水産技術会議事務局長
谷野　陽＞
農薬を理解するために……15
＜農薬工業会会長　小平　祐＞
アメリカにおけるミニマムティルと
雑草防除(2)……20
＜宇都宮大学雑草防除研究施設
竹内安智＞
タイ国における植物資源としての雑
草……29
＜東北農業試験場水田利用部
原田二郎＞
昭和63年度春夏作芝関係除草剤・生
育調節剤試験成績概要…… 39
＜(財)日本植物調節剤研究協会
技術部＞
昭和63年度桑園関係除草剤・生育調
節剤試験成績概要…… 49
＜(財)日本植物調節剤研究協会
技術部＞
民間研究所めぐり…… 51
＜残留農薬研究所＞
植調協会だより…… 52